

# ちゃんと使えてる？

## 「若者言葉」

若者たちの間やネット上では、新しい言葉が次々に生まれている。これらは一般的に「若者言葉」と呼ばれ、近年注目され始めた。FacebookやTwitterなどソーシャルメディアを使う人が増え、誰もが世界中に発信できるようになった。地域を越えて新しく作られた言葉が多くの人に広がっている。

生も多いが、全員が同じ言葉遣いをするわけではない。いつも話しているはずの同級生が、突然知らない言葉を使い、何を言っているのか分からず戸惑う——同じ大学生でもそんな経験は少なくない。しかし就活の場などで若者言葉を使う学生はいない。これについてコミュニケーション論に詳しい同大の辻大介准教授は、「大学生間で言葉が通じないトラブルは、身内感の取り間違えから起こるものだろう」と考える。

大学生がよく使う言葉

- ・ワンチャン…可能性がほぼない
- ・秒で…一瞬で
- ・チャイ語…中国語の略
- ・あーお…ああ、なるほどお
- ・それな…強い同意を意味
- ・話んだ…人生の終わり
- ・りよ…了解の略

若者言葉は言語的に合理性があるとも説明する。小矢野教授は「中身はなくていい。言っていて楽しくなるという点」が大事だ。僕が学生のときは、今のようないい葉遊びに対する寛容さがなかったから羨ましい」と語る。

言葉の流行についていはず理解できないとする声や批判意見も多いが、寛容な解釈をする視点も失ってはならない。新しい言葉を楽しむ大学生たちから目が離せない。

(聞き手 田中弘二)

FOCUS vol.240

発行日 2015年2月16日 (C) UNN 2010